

QC (Quality Control) とは

品質管理：製品の品質を計画、維持、評価、向上させる管理活動

- 品質管理・品質改善・プロセスの可視化を行っていくための手法
- 図を用いることで、難しい数学・数値処理を必要としない
- 「QCの7つ道具」と「新QC7つ道具」とよばれるものがある



主に定量的な分析

⇔ 新QC7つ道具
(主に定性的)

QCの7つ道具

QC目的のためによく用いられるものをまとめたもの
グラフなどを用いて、データを一目で見ること(見て判断することも)ができる

1. パレート図
棒グラフと折れ線グラフで出来た複合グラフ
→ ABC分析
2. 特性要因図
事柄の因果関係の図式化
→ 改善要因の発見(原因と結果)
3. ヒストグラム
度数分布グラフ
→ 平均からのばらつきの把握
4. 散布図
データ項目間の相関関係を示す
→ 正の相関、負の相関、無相関
5. チェックシート
→ データのとりまとめ(もれなく集める)
6. 管理図
→ 中央線と上下限界線の範囲でデータのバラツキを見る
7. グラフ
→ データを把握しやすいように表現
8. 層別
データの共通点をいくつかのグループ(層)に分ける

↑

順番に意味はありません。教科書によって7項目の内容が異なっている場合もあります。

復習) 「定量」的と「定性」的との違いを簡単に説明してください。

関連) 「ISO9001」品質マネジメントとは。

→ ISO

